



# 入出庫管理

製品などの入出庫数、在庫数を管理するためのテンプレートです。

製品などの情報を登録し、入出庫担当者が数量を登録することで在庫状況を自動集計できます。

## 利用の流れ

- ① 担当者(user1ユーザー)は[入出庫管理]データポケットに品名など、在庫数以外の情報を入力して保存します。最初の在庫数は、[入出庫明細]データポケットで[入庫/出庫選択]から[入庫]を選択して数量を入力します。
- ② 入出庫を使用する際に、[入出庫管理]データポケットで数量を入力して保存します。登録時にPlatioが自動的に集計用の数量を登録します。必要に応じて、登録内容をデータビューアーでCSVまたはExcel形式でエクスポートして参照します。

[入出庫管理]データポケットでは入出庫の残数量が自動で**集計**されて表示確認できます。



## データポケット

名前	種類	利用するユーザー
入出庫管理	主	user1
入出庫明細	主	user1

## ユーザー/プロファイル

名前	管理者	プロファイル	プロファイルで利用できるデータポケット
user1		デフォルト	入出庫管理、入出庫明細

## 【テンプレートの特長キーワード】

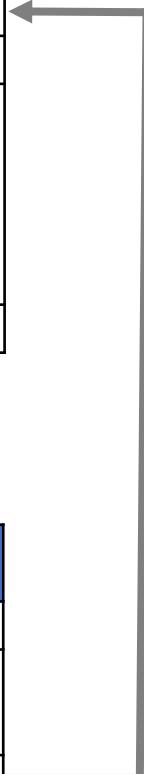
集計 レコード選択 計算・Platio式 一覧シーンの表示フォーマット 初期値

## ミニアプリ概要

### ◆ 入出庫管理データポケット [主]

製品などの情報を入力して保存します。入出庫の残数量が自動で集計されて表示確認できます。

フィールド	型: [プロパティ]別データポケット参照先	[プロパティ] 同データポケット参照先
品名	テキスト	
写真	画像(小)	
在庫数	集計: [タイプ]合計 [生成元データポケット]入出庫明細 [生成元の主キー]品名 [生成元の値]集計用 [主キー]品名	
保管場所	テキスト	



### ◆ 入出庫明細データポケット [主]

入出庫を使用する際に、数量を入力して保存します。

フィールド	型: [プロパティ]別データポケット参照先	[プロパティ] 同データポケット参照先
入出庫日	日付	
担当者	ユーザー	[初期値] 入力時のユーザーを自動で設定する
品名	レコード選択 選択元データポケット:入出庫管理 選択元フィールド:品名	
入庫/出庫選択	テキスト選択	[選択値] 入庫 出庫
数量	数値	
備考	複数行テキスト	
集計用	数値計算	[値] 入庫/出庫選択が”出庫”的場合、-1 * 数量の値 それ以外の場合、数量の値

※ レコードの登録／編集時、「集計用」フィールドはミニアプリ上には表示されません。

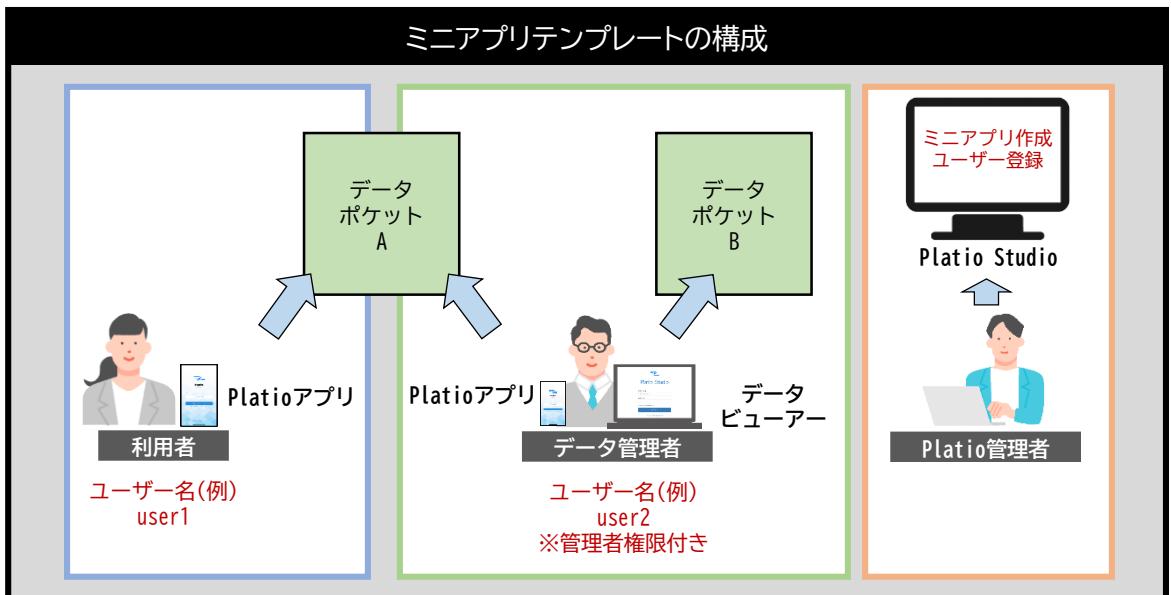
← レコード選択で他データポケットのフィールド参照

# 操作手順

## 利用の流れ

- ① [事前準備] **Platio管理者**が、Platio Studioにアクセスしてミニアプリを作成してデータポケットを使用するユーザー アカウントを登録します。
  - ② **データ管理者**は、PCのWebブラウザからデータビューアーにアクセスしてデータポケットのレコードを管理できます。
  - ③ **利用者**は、Platioアプリからミニアプリにログインして データポケットにデータを作成・編集します。

ユーザーは、データビューアーとPlatioアプリへログインできます。(データビューアーへのログインを許可しないようにすることもできます。)





## Platio Studioでミニアプリを配布

ここでは、「勤怠連絡」テンプレートを例にミニアプリの作成からPlatioアプリユーザーへの配布までをご説明します。  
Platioの無料トライアルの申込み、利用の流れについては「[スタートアップガイド](#)」をお読みください。

Platio管理者が、Platio Studioでミニアプリを作成します。



Platio Studio

ミニアプリの作成

テンプレートを選択

おすすめテンプレート

勤怠連絡

テレワーク申請

倉庫搬入(日次)

勤怠連絡

新しい生活様式

換温レポート

被災状況報告

データポケット

勤怠連絡

プロファイル

社員

社員リスト

戻る テンプレートを選択

ミニアプリの作成

サンプルのユーザーを追加

Platioでは、ミニアプリごとに、そのミニアプリを使用するためのユーザーを作ることができます。Platio Studioにログインする時に使用したユーザー名、パスワードは、このミニアプリにはログインできませんので注意ください。

ここでは、このミニアプリにログインするためのサンプルのユーザーを追加します。各サンプルユーザーには、使用できるデータケツが付与されています。これらのユーザーを使用して、作成したミニアプリにログインしてください。ユーザーの名前とパスワードを入力してログインしてください。

サンプルのユーザーを編集するには、各ユーザーの編集ボタンをクリックしてください。後でユーザーを編集することもできますが、名前は変更することができますのでご注意ください。

実際にこのミニアプリをご利用になるときには、これらサンプルユーザーの設定を元に、さらにユーザーを作成いただけます。

名前	パスワード	メールアドレス	プロファイル	管理者
user1	Msf8W5m0	user1@example.org	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
user2	OgJUpBxk4	user2@example.org	社員	<input type="checkbox"/>

CSVでダウンロード

スキップ サンプルユーザーを追加する

ミニアプリの作成

ミニアプリの使用

iOS / Androidアプリでミニアプリを使うには、アプリを起動し、以下のURLを入力するか、QRコードを読み取ってください。

ミニアプリの使い方は、[勤怠連絡テンプレートの詳細](#)を参照してください。

このURLを、Platio iOSアプリまたはAndroidアプリに入力してください。

<https://studio.platio.jp/applications/勤怠連絡>

このQRコードを、Platio iOSアプリまたはAndroidアプリで読み込むこともできます。

Platioアプリをまだインストールしていない場合、App StoreからiOSアプリを、または、Google PlayからAndroidアプリをインストールしてください。

App Store からダウンロード Google Play で手に入れよう

Platioアプリの使用方法については、[Platioアプリガイド](#)を参照してください。

ユーザーの管理 完了

### ● Platio Studioへログイン <https://studio.platio.io/>

ログイン後の画面で、右上の「ミニアプリを作成」をクリックして進めます。

※ アカウント情報はトライアル申込み時に送られてきたメールをご確認ください。

### ● ミニアプリを作成

ミニアプリを作成するウィザードで、ミニアプリテンプレートを選択します。

右下の「テンプレートを選択」をクリックし、表示されたミニアプリの作成画面でミニアプリの名前を任意に編集して、ミニアプリを作成します。

### ● サンプルのユーザーを追加

ユーザーをそのまま使う場合はユーザーの名前とパスワードをメモしておきます。

ここで作成するユーザーはサンプルとして動作確認に使います。モバイルアプリの動作確認の後、引き続き使うこともできますし、削除して新規にユーザーを追加することもできます。

ここでユーザーを追加すると、登録したメールアドレスに招待メールが届きます。届いたメールは保存しておいてください。なお、招待メールの送信を中止することはできません。

### ● ミニアプリの作成を完了

「完了」をクリックすると、作成したミニアプリのデータポケット一覧が表示されます。

※ ミニアプリを作成・編集して利用可能な状態にすることを”配布”といいます。

これで、ミニアプリを作成・配布し、アプリユーザーの登録が完了しました。



## Platio Studioでミニアプリのユーザーとデータポケットを確認

データポケット一覧

クリックしてデータポケット一覧へ

ユーザー一覧

データポケット一覧

クリックしてデータポケット一覧へ

プロファイル一覧

クリックしてデータポケット編集画面へ

クリックしてデータポケット一覧へ

フィールド

シーン

### ● ユーザーを確認

データポケット一覧で右メニューの「ユーザー」をクリックしてユーザーを確認します。

端末のPlatioアプリへログインするユーザーの一覧です。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

### ● プロファイルを確認

「プロファイル」をクリックしてプロファイルを確認します。

各プロファイルが設定されたユーザーが利用可能なデータポケットを確認できます。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

### ● データポケットを確認

データポケット名をクリックして、データポケットのレコード内容(各フィールド)を確認します。

上部で、データポケットの各フィールドを確認します。

下部で、Platioアプリで表示されるシーン(画面)をプレビューでき、シーンの各種設定を行います。

以上で、ミニアプリの確認は完了です。

次は、データビューアへログインする手順を説明します。



## データビューアーへのログインを確認

データビューアーは、データポケットのレコード管理をPCのWebブラウザから行うツールです。

データビューアーへは、主に管理者のユーザーでログインします。

### 【Platio Studio】

The screenshot shows the Platio Studio interface with the '勤怠連絡' (Attendance Contact) data pocket selected. The left sidebar lists other data pockets like 'データポケット名' (Data Pocket Name), '勤怠連絡' (Attendance Contact), and '社員リスト' (Employee List). The main area displays two records for '勤怠連絡' with columns '種別' (Type), '会員' (Member), '最終更新日時' (Last Update Time), and '操作' (Action).

Platio Studioの「データビューアー」のリンクからミニアプリのデータビューアーへアクセスし、ログイン画面からログインします。

PCのメールソフトで招待メールを受信して、本文のリンクからもアクセスできます。

### 【データビューアー】

The screenshot shows the Data Viewer login screen for the '勤怠連絡' data pocket. It features a logo, a title 'Platio データビューアー', and a form with fields for 'ユーザー名またはメールアドレス' (Username or Email Address) containing 'user2', 'パスワード' (Password) with a masked input, and a checkbox 'ログイン状態を保持する' (Remember login status). Below the form is a blue 'ログイン' (Login) button.

ブラウザの新しいタブにデータビューアーのログイン画面が表示されます。  
ユーザー情報を入力してログインします。

※ Platio Studioユーザーではなく、Platioアプリのユーザーでログインします。

The screenshot shows the Data Pocket list view in the Data Viewer. It lists '勤怠連絡' (Attendance Contact) and '社員リスト' (Employee List) under the '勤怠連絡' category. The '勤怠連絡' entry is highlighted with a green border.

データポケット一覧でデータポケット名をクリックします。

The screenshot shows the Data Pocket record list view for the '勤怠連絡' data pocket. It displays a message 'レコードが見つかりません。' (Record not found.) and includes buttons for '作成' (Create) and 'インポート' (Import).

データポケットのレコード一覧画面が表示されます。  
右上の「作成」または「インポート」からデータを登録できます。

※ インポートではあらかじめCSVの形式でファイルから登録することができます。

The screenshot shows the 'レコードのインポート' (Record Import) dialog. It includes sections for '例' (Example) showing CSV data, 'インポート可能なファイル' (Importable files), 'エンコーディング' (Encoding) set to 'UTF-8', '動作' (Action) set to 'レコードを作成' (Create Record), and '作成者' (Creator) with a note about specifying the creator in the 'CreatedBy' field. At the bottom are 'キャンセル' (Cancel) and 'インポート' (Import) buttons.

「インポート」をクリックして表示されたレコードのインポート画面で、インポートできるCSVの形式が確認できます。

以上で、データビューアーの確認は完了です。

次は、Platioアプリを使う手順を説明します。



## サンプルユーザーでアプリを使ってみましょう

利用する端末にPlatioアプリをインストールしてください。  
インストールについては「スタートアップガイド」をお読みください。  
<https://plat.io/ja/support/guide>

サンプルユーザーでPlatioアプリを使ってみましょう。  
ユーザー情報はPlatio Studioのメニュー「ユーザー」で確認できます。



メール画面

ユーザーを追加したときに指定したメールアドレスに招待メールが送信されています。  
届いた招待メールの本文にあるミニアプリのQRコードをPlatioアプリで読み取ります。

端末のPlatioアプリを起動して  
「QRコードをスキャン」をタップしてQRコードを  
読み取ります。

または、以下のようにPlatio Studioの  
サイドメニューのアプリリンクからもQRコードを  
表示できます。



メール画面



Platioアプリ

Platioアプリと同じ端末でメールを表示した場合、  
ミニアプリ名のリンクをタップするとPlatioアプリ  
が起動してミニアプリのログイン画面が表示され  
ます。

Platioアプリでミニアプリのログイン画面が表示  
されます。

ユーザー情報を入力してログインします。

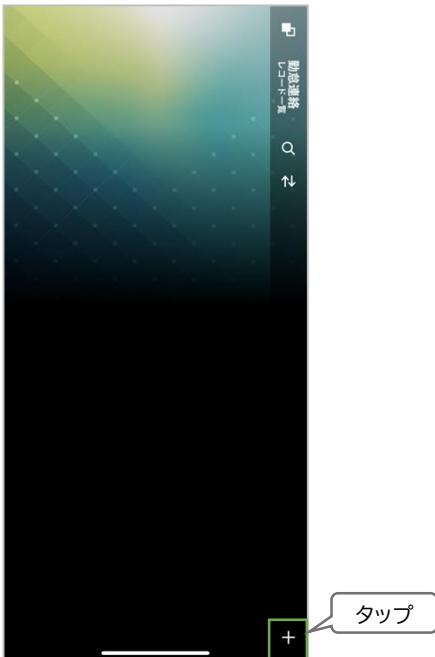


## Platioアプリ <各種シーンと操作>

Platioアプリにログインすると、Platio Studioで指定された最初のシーンが表示されます。表示されるシーンは、ミニアプリごとに異なりますが、入力シーンまたは一覧シーンが表示されます。

### ● 一覧シーン

何も表示されない場合は、登録されたレコードが無い状態です。  
レコードを入力するには、右下の「+」をタップします。



タップ

### ● 入力シーン

データを入力する各フィールドが表示されています。  
入力したデータを保存するには、右下の「✓」をタップします。



タップ

### ● シーンを閉じる(前に戻る)

シーンを閉じるには、タップしながら上から下にスライドします。



閉じるには  
スライド

### ● 入力をキャンセルする

シーンを閉じるには、上から下にスライドして表示された「×」をタップします。



タップ



## Platioアプリ <一覧シーンで検索・並び替え>



### ● 一覧から検索

検索アイコンをタップします。  
検索ワードを入力するか、またはタップして表示される定義された検索条件をタップすると、検索した結果の項目が表示されます。

※ Platio Studioで検索可能と設定したフィールドが検索できます。



### ● 一覧を並び替え(ソート)

ソートアイコンをタップします。

並び替えできる項目が表示されます。昇順・降順のアイコンをタップすると、並び替えて表示されます。

※ Platio Studioでソート可能と設定したフィールドが検索できます。

## データポケットやミニアプリの設定を変更したい

データポケットにフィールドを追加したりPlatioアプリでの見た目を変更したり、ミニアプリに機能を追加したり、ミニアプリを編集することができます。

初めてPlatioを操作するときは「[Platioスタートアップガイド](#)」をお読みください。

### ◆ Platioスタートアップガイド

はじめてPlatioをお使いになる方向けの、Platioの概要とPlatioを使いながら全体の流れを説明するガイドです。

[Platioヘルプセンター]の「はじめての方へ」をクリックして「①Platioって？」からご覧いただけます。  
<https://help.plat.io/hc/ja>

### ◆ ノーコードツール学習サイト「NoCode Gate」

Platioの操作を動画で学べます。

<https://nocodegate.asteria.com/>

Platioに関するお問い合わせ:[お客様ログイン]からお問合せフォームにてお問合せください。  
<https://asteria.com/mng/login>

Platioのお役立ち情報、ご利用ガイド、よくあるご質問:[Platioヘルプセンター]  
<https://help.plat.io/hc/ja>

Platioに関する情報(事例、リリース情報など):[製品サイト]  
<https://plat.io>